

令和3年度 社会福祉法人ウイング 事業報告

今年度も新型コロナウイルス感染症が事業に大きく影響する1年となりました。日常の感染対策をはじめ、活動範囲や内容の限定・変更、イベント等の自粛、さらには感染者発生に伴う休業など、多岐にわたる対策と取り組みが必要とされました。そのような渦中であっても、様々な創意工夫や弛まぬ努力により、利用者ニーズに応えてきたとも言えます。

また、福祉作業所時代から共に歩んできた利用者とのお別れが続きました。遠く離れた入所施設ではなく、生まれ育ったこの町で生涯にわたり家族や仲間とともに過ごし最期を迎えることができました。この「地域で生きる」を支え続けてきたウイングを誇りに思います。

そして、私たちは、これからも地域福祉の担い手として、障害があっても自分らしく幸せに暮らせる地域づくりを目指していきたくと、改めて思います。

【法人本部】

| | |
|----------|--|
| 重点 目標 | <ul style="list-style-type: none">○社会福祉法人としての使命の追及○適正かつ公正な法人運営○積極的な情報公開・情報発信 |
|----------|--|

1. 理事会の開催

| | 開催日 | 出席数 | 議決事項 |
|-----|----------|----------------------------|--|
| 第1回 | R2/6/3 | 理事6名 監事2名 | R2年度社会福祉法人ウイング事業報告並びに決算報告について、役員選任候補者の選任について、評議員選任候補者の選任について、評議員選任委員の選任について、苦情解決第三者委員の選任について、評議員選任委員会の開催について、R3年度定時評議員会の開催について、人事考課規程の一部改正について、R3年度資金収支補正予算(第1号)について、(仮称)グループホームにじ2号棟施設設立(案)について |
| 第2回 | R3/6/24 | 理事6名 監事1名 | 社会福祉法人ウイング理事長の選定について |
| 第3回 | R3/8/24 | 書面決議 同意 理事6名 監事2名 | (仮称)グループホームにじ2号棟建設用地の購入について、R3年度収支補正予算(第2号)について、就業規則及び給与規程の一部改正について、R3年度第2回評議員会の開催について |
| 第4回 | R3/11/30 | 理事5名 監事1名 | R3年度資金収支補正予算(第3号)について、R3年度第3回評議員会の開催について |

| | | | |
|-----|---------|----------------------------|---|
| 第5回 | R4/3/15 | 書面決議 同意 理事6名 監事2名 | R3年度資金収支補正予算(第4号)について、R4年度社会福祉法人ウイング事業計画並びに資金収支予算について、R3年度第4回評議員の開催について |
|-----|---------|----------------------------|---|

2. 評議委員会の開催

| | 開催日 | 出席数 | 議決事項 |
|-----|----------|--------------|---|
| 第1回 | R2/6/24 | 6名 | R2年度社会福祉法人ウイング事業報告並びに決算報告について、理事及び監事の選任について、R3年度資金収支補正予算(第1号)について |
| 第2回 | R3/8/30 | 書面決議 同意7名 | R3年度資金収支補正予算(第2号) |
| 第3回 | R3/12/20 | 書面決議 同意7名 | R3年度資金収支補正予算(第3号) |
| 第4回 | R4/3/28 | 書面決議 同意7名 | R3年度資金収支補正予算(第4号)について、R4年度社会福祉法人ウイング事業計画並びに資金収支予算について |

3. 評議員選任・解任委員会の開催

| | 開催日 | 出席数 | 議決事項 |
|-----|--------|-----|------------------------|
| 第1回 | R3/6/3 | 3名 | 社会福祉法人ウイング次期評議員の選任について |

4. 監事監査

- 開催日 令和3年5月24日
- 場所 ワーク&ライクのびっこ食堂
- 内容 令和2年度事業報告及び会計監査 結果：適正

5. 委員会関係

- 権利擁護委員会：会議12回
 - ・法人の「身体拘束適正化指針」及びそれに伴う「同意書」等を作成した。
- 研修委員会：会議12回
 - ・新任研修(年5回)・法人全体研修は動画視聴形式により実施した。
 - ・研修委員会だよりの発行(年4回)
- 福利厚生委員会：会議6回
 - ・フォトコンテスト実施(10月)・職員慰労品の配布(12月)・新年会は中止
- 感染症対策委員会
 - ・感染症対策指針の検討(施行についてはR4年度を予定)等。

○スマイルフェス実行委員：第4回 smile[∞]smile fes 中止のため開催なし。

6. 事務局

- ・社会福祉法人制度改革により強化された経営組織として、理事会・評議員会において、経営会議・本部会議で集約された意見や法人の経営状況・運営状況について、報告を行い必要事項についての決議を行った。
- ・役員任期満了に伴い、定款に則り改選手続きを滞りなく行った。
- ・就業規則の改定とそれに伴う給与規程の改定を行い、令和3年10月をもって新規程へ移行を完了した。移行期間の給与支払等について職員へ説明を行い、混乱することなく締め日・支払日の変更をすることができた。
- ・感染症対策委員会において、感染症対策指針の策定・整備に取り組んだ。
- ・新型コロナウイルスが蔓延する中、法人内事業所において感染事例が数件発生し、関係各所への報告をはじめ、感染拡大を防ぐための対策を行った。
- ・ホームページのトップページに WordPress を導入した。効果的な採用につながる求人ページのリニューアルは次年度の課題である。
- ・主任研修を2回実施した。主任職間での連携を深めることができ、有意義であった。
- ・Wi-Fi環境の整備を行ったことで、オンラインによるリモート会議が定着し、直接対面できない状況においても即時意見交換や情報共有を行うことができた。

I のびっこ拠点

新型コロナウイルスについては、日頃から感染防止対策を行い、授産作業の工夫や、イベント等の一部縮小・中止等の配慮をして利用者の安心・安全に努めた。2月に利用者の感染があり、影響を見極めるため1週間の休所対応をとった。幸い大きな広がりには至らなかったが、引き続き徹底した感染防止対策に努めている。

【多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ】 生活介護・就労継続支援B型

| | |
|----------|---|
| 重点 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○利用者主体の支援・本人の意思を尊重した支援の徹底 ○重度障害者支援のさらなる強化 ○地域生活支援拠点等への積極的な対応 ○誇りの持てる、働きがいある組織づくり |
|----------|---|

1. 職員体制 管理者1名・サービス管理責任者1名・嘱託医1名・看護師2名
生活支援員21名・職業指導員1名・目標工賃達成指導員1名
管理栄養士1名・調理員3名・事務員1名・運転手2名 ※育休1名
計37名（うち常勤19名）

2. サービス提供実績

契約者 56名

生活介護：40名（新規1名・退所者3名）就労B型：16名（新規1名・退所者1名）

| 支援区分 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 未認定 | 計 |
|------|---|---|---|---|----|----|-----|----|
| 生活介護 | 0 | 0 | 0 | 4 | 15 | 21 | 0 | 40 |
| 就労B | 0 | 1 | 4 | 3 | 0 | 0 | 8 | 16 |
| 計 | 0 | 1 | 4 | 7 | 15 | 21 | 8 | 56 |

| 性別 | 女性 | 男性 | 計 |
|------|----|----|----|
| 生活介護 | 17 | 23 | 40 |
| 就労B | 5 | 11 | 16 |
| 計 | 22 | 34 | 56 |

| 市町村 | 川島 | 川越 | 北本 | 計 |
|------|----|----|----|----|
| 生活介護 | 37 | 2 | 1 | 40 |
| 就労B | 15 | 1 | 0 | 16 |
| 計 | 52 | 3 | 1 | 56 |

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60以上 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 生活介護 | 0 | 7 | 19 | 8 | 6 | 0 | 40 |
| 就労B | 0 | 4 | 2 | 5 | 2 | 3 | 16 |
| 計 | 0 | 11 | 21 | 13 | 8 | 3 | 56 |

利用者工賃

- 就労支援B型 年間支給総額 3,913,265円（前年度4,101,689円）
 平均月額 21,001円（前年度19,626円）
 時給換算額 269円（前年208円）
- 生活介護 年間支給総額 2,376,160円（前年度2,490,700円）
 平均月額 5,280円（前年度5,114円）

| 授産売上 | カフェ | パレット | ジャコッテ | エラン | マハロ | 合計 |
|--------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|------------|
| 2020年度 | 9,765,188 | 2,226,886 | 2,568,297 | 234,548 | 2,322,337 | 17,117,256 |
| 2021年度 | 8,803,239 | 1,276,663 | 3,188,700 | 238,300 | 2,187,676 | 15,694,578 |
| 前年度比 | 90.4% | 57.3% | 124.1% | 103.7% | 94.2% | 91.6% |

| R3年度 通所実績数 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間 | 前年度 | 前年度比 | |
| 生活介護 | 定員 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | — | |
| | 契約者数 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 39.3 | 102% | |
| | 通所日 | 21 | 18 | 22 | 20 | 20 | 20 | 21 | 21 | 20 | 19 | 18 | 22 | 242 | 242 | 100% |
| | 利用者延数 | 766 | 653 | 799 | 717 | 686 | 692 | 738 | 722 | 669 | 623 | 530 | 691 | 8,286 | 8,303 | 100% |
| | 平均利用者/日 | 36.5 | 36.3 | 36.3 | 35.9 | 34.3 | 34.6 | 35.1 | 34.4 | 33.5 | 32.8 | 29.4 | 31.4 | 34.2 | 34.3 | 100% |
| | 利用率(定員比) | 122% | 121% | 121% | 120% | 114% | 115% | 117% | 115% | 112% | 109% | 98% | 105% | 114% | 114% | 100% |
| 就労継続支援B型 | 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間 | 前年度 | 前年度比 |
| | 定員 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | — |
| | 契約者数 | 16 | 17 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17.8 | 16.8 | 106% |
| | 通所日 | 25 | 24 | 25 | 26 | 21 | 24 | 24 | 25 | 23 | 22 | 23 | 25 | 287 | 289 | 99% |
| | 利用者延数 | 288 | 262 | 290 | 290 | 246 | 258 | 269 | 262 | 248 | 225 | 185 | 229 | 3,052 | 3,127 | 98% |
| | 平均利用者/日 | 11.5 | 10.9 | 11.6 | 11.2 | 11.7 | 10.8 | 11.2 | 10.5 | 10.8 | 10.2 | 8.0 | 9.2 | 10.6 | 10.8 | 98% |
| 利用率(定員比) | 115% | 109% | 116% | 112% | 117% | 108% | 112% | 105% | 108% | 102% | 80% | 92% | 106% | 108% | 98% | |

| R3年度 ランチサービス実績数 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|------|
| ランチサービス | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用者食数 | 933 | 904 | 897 | 985 | 769 | 872 | 947 | 900 | 897 | 845 | 793 | 917 | 10,659 | 10,365 | 103% |
| | 65% | 64% | 63% | 64% | 65% | 64% | 63% | 63% | 64% | 65% | 64% | 63% | 64% | 61% | — |
| 職員食数 | 502 | 507 | 492 | 547 | 413 | 478 | 538 | 502 | 493 | 456 | 441 | 532 | 5,901 | 5,757 | 103% |
| | 35% | 36% | 35% | 36% | 35% | 35% | 36% | 35% | 35% | 35% | 36% | 37% | 35% | 34% | — |
| ボランティア他 | 6 | 9 | 29 | 5 | 10 | 10 | 18 | 22 | 4 | 3 | 8 | 3 | 127 | 159 | 80% |
| | 0% | 1% | 2% | 0% | 1% | 1% | 1% | 2% | 0% | 0% | 1% | 0% | 1% | 1% | — |
| 総計 | 1,441 | 1,420 | 1,418 | 1,537 | 1,192 | 1,360 | 1,503 | 1,424 | 1,394 | 1,304 | 1,242 | 1,452 | 16,687 | 17,072 | 98% |

| R3年度 送迎サービス実績数(回数) | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|--------|--------|------|
| 送迎サービス | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間 | 前年度 | 前年度比 |
| 就労B型 | 241 | 230 | 265 | 264 | 242 | 254 | 256 | 280 | 277 | 257 | 174 | 213 | 2,953 | 3,330 | 89% |
| 生活介護 | 1164 | 991 | 1243 | 1149 | 1070 | 1078 | 1155 | 1116 | 1033 | 940 | 644 | 1055 | 12,638 | 12,936 | 98% |
| 合計 | 1405 | 1221 | 1508 | 1413 | 1312 | 1332 | 1411 | 1396 | 1310 | 1197 | 818 | 1268 | 15,591 | 16,266 | 96% |

実施状況

- ・今年度も「ゆるゆるタイム」として、作業だけではなく選択できるプログラムを積極的に取り入れ、個人個人の利用者の状態に応じた活動を大切にしました。

○マハロ班

- ・室内環境や空間の整備、作業の継続が難しい利用者に対して新しい作業の提案など、利用者個々の状態に応じた取り組みをより充実させた。今まで班の職員が行っていた役割を一部他班の職員が担うことで、班内のコミュニケーションがより活発化された。
- ・ゆるゆるタイムも定着し、利用者の希望も聞きながら作業と余暇の両立をはかった。
- ・製菓作業は、利用者主体の授産品づくりを心がけ、作業のしやすさを意識した。

・注文に対しても実現可能な個数を検討し、可能な限りお客様の要望に沿うよう務めた。

○エラン班

- ・名刺・ポチ袋・封筒・コースター・カレンダーなどの授産品製作については、利用者の力を最大限に活かすことを重視し、その過程で利用者同士の連携を心がけた。
- ・班内の利用者が増えたことで、利用者同士のコミュニケーションも活発になった。利用者増で敏感になる方に対しては、作業環境を整え刺激が和らぐように工夫した。
- ・引き続き生活リハビリを毎日実施している。PTの指導内容をリハビリに組み込み、より効果的なものになるように努めている。
- ・納品や買い物・パック回収などの外出は、感染状況を踏まえながら行った。

○ジャカッセ班

- ・資源回収・納品作業については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら慎重におこなった。実施時には感染対策を取り、安全に行うことに努めた。
- ・下半期より「ゆるゆるタイム」を定期的に行い、作業と余暇の両立を図るようにした。
- ・利用者とのコミュニケーションの時間を積極的に設け、利用者に寄り添った支援に努めた。また利用者の情報共有を通じ、職員間のコミュニケーションの活性化が図れた。

○パレット班

- ・作業環境を整え、利用者が準備から自分で行えるように工夫した。ミシン作業、パソコン作業からラジオ体操や音楽まで、利用者が自分の興味を踏まえた役割を持つことで、責任をもって取り組むようになった。
- ・効率化を意識した支援を行うことで作業時の混乱が減るとともに、売上管理などは利用者がPC入力できるような様式を作成し、やる気に沿いながら効率化を図れた。
- ・コロナ禍でも、利用者の絵を基にしたデザインTシャツを作成したり、ネット販売や、地域イベントへの参加など、新商品の開発や外部発信を少しずつ行うように努めた。

○カフェ班

- ・今年度も緊急事態宣言等の状況により、テイクアウトのみの営業や、時間短縮での営業をおこなった。感染防止対策は徹底して行い、安心して飲食していただける態勢に努めた。
- ・職員がホール・キッチンどちらでも業務を行えるようになり、より効率的な作業をおこなえるようになった。
- ・利用者支援に関しては、特に利用者の健康状態の把握を徹底し、通院状況についても職員間での共有に努めた。

○ランチサービス

- ・今年度も感染拡大防止のため、全職員協力のもと食堂・厨房の対策を徹底した。
- ・年度途中で管理栄養士の変更があったが、大きな支障もなくサービスを継続できた。
- ・献立の中に季節のメニューや郷土メニューなどを取り入れ、バラエティーに富んだ昼食を提供した。
- ・昼食に関するアンケートを実施した（4月）。また昨年度出来なかった保護者試食会をおこない、普段の昼食を保護者の方にも共有していただいた。

○年間行事

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または内容を縮小・変更して実施した。入所式（4月）、かわじま春まつり（中止）、水泳教室（中止）・ゆるゆる夏祭り（8月/従来の夕涼み会は中止）、わくわくのんびりフライデー（10月/従来の日帰り旅行は中止）・青空まんぷく会（10月）・のびっこチャレンジカップ（11月/従来の農工商祭は中止）、クリスマス会（12月）、成人を祝う会（1月）、班別レク（中止）

○保健・衛生管理

利用者健康診断（4月/11月）、職員健康診断（5月）、体重測定（月1回）、保健便り（年4回）、服薬管理、感染症に関する講習会、保健衛生関係備品の整備、他 県障害者施設従事者 PCR 検査実施（7～10月、2～3月）

【看護師】消毒清掃・検温チェック等感染症対策の徹底、服薬管理、嘱託医との連携、利用者保護者の健康相談、緊急時の通院同行、看護師会議（月1回）など

○車両運行管理 日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車 他

○保護者会 感染状況を見極めながら、5月・7月・11月・1月に実施した。食事・健康面での関心が高く、テーマによっては看護師・管理栄養士も出席した。

○実習生等の受入 緊急事態宣言解除後に受け入れた。通常の感染防止対策に加え、大学生等には行動記録や誓約書の提出など、感染防止対策を講じて受け入れを行った。特別支援学校生徒：1校2名 介護等体験実習：2校3名 専門・短大等：1校1名

○ボランティア

今年度も通常時のボランティアの受け入れは中止した。イベント時に2名の受け入れをした（前年度4名）。

○毎月施設だより（のびだより）を発行している。

3. サービス向上の取組

職員研修

○外部研修（参加者6名）～原則としてオンラインでの研修であった。

感染症対策応用研修・栄養士連絡会議・ウェルフェアトレードセミナー・看護研修会・サービス管理責任者基礎研修・強度行動障害支援者養成研修

○内部研修

緊急時の対応（4月）・利用者の理解を深める（5月）・安全運転（6月）・熱中症対策（7月）・事例検討会（9月/講師：埼玉県発達障害支援センター相談員）・感染予防（10月）・安全運転（12月）・アンガーマネジメント（2月）・権利擁護虐待防止（3月）

○スタッフ会議（毎月）・運営会議（毎月）・班連携会議（毎月）・班会議（各班毎月）・看護師会議（毎月）

危機管理対策

各報告については朝会にて速やかに共有するとともに、班会議・班連携会議等で共有・対応の検討を行い、事故の未然防止や支援向上に努めた。

○ヒヤリはっと 52件（前年度61件）

内容：利用者同士の接触（7）・怪我・傷（7）・転倒つまずき（6）・備品紛失（未遂）（4）・支援中のヒヤリ（3）・車からの飛び出し（3）・異食・窒息（3）・送迎忘れ（2）・行方不明未遂（2）・備品破損（2）・その他車に関すること（4）・その他（9）

○事故報告 17件（前年度10件）

内容：車両の破損・故障（3）・利用者の怪我（3）・送迎忘れ・遅れ（3）・職員の怪我（3）・職員へ暴力（2）・備品紛失（1）備品破損（1）・誤飲（1）

※その他、コロナPCR検査報告を含めて、必要に応じ埼玉県に報告をした。

○苦情報告 5件（前年度20件）

内容：サービス内容（3）・新型コロナに関すること（1）・回収作業に関すること（1）

○防災訓練・点検

消防避難訓練（6月・10月・3月）、洪水想定通報訓練（2月）、定期点検（自主点検（4月・10月）・業者設備点検（7月・2月））

※洪水時の避難確保計画を作成し、川島町に届け出た。

II かわじま地域生活支援センター拠点

センター拠点として3年目に入った中で、きらりとライフサポートそらの連携も軌道に乗り、生活に密着した支援を行うことができた。新型コロナウイルスについても現状にあわせ、できる限りの感染対策や支援を考え対応してきた。

【かわじま町障がい児・者相談支援事業所きらり】

特定相談支援・障害児相談支援・生計困難者相談支援

| | |
|----------|--|
| 重点 目標 | <ul style="list-style-type: none">○現在の相談支援の継続（本人・家族の希望に沿った総合的な計画）○天災時のマニュアルづくり○自立生活に向けた「きらり Smile サロン」の展開○生活困窮者支援の継続○川島町の地域力アップ・連携の強化○かわじま地域生活支援センターとして一本化した支援を提供 |
|----------|--|

1 職員体制（令和4年3月31日現在）

管理者1名（兼務）・相談支援専門員2名 計 3名

2. サービス提供実績

- ・利用契約……136件（新規8件・終了8件）
- ・認定調査……41件（前年度はコロナの影響により調査依頼なし）
- ・計画作成……延128件 ・モニタリング……延364件

| 性別 | 児童 | 成人 | 計 |
|----|----|-----|-----|
| 女 | 12 | 41 | 53 |
| 男 | 16 | 67 | 83 |
| 計 | 28 | 108 | 136 |

| 主な障害 | 児童 | 成人 | 計 |
|------|----|-----|-----|
| 知的 | 28 | 74 | 102 |
| 身体 | 0 | 10 | 10 |
| 精神 | 0 | 23 | 23 |
| 難病 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 28 | 108 | 136 |

| 援護市町村 | 児童 | 成人 | 計 |
|-------|----|-----|-----|
| 川島町 | 26 | 98 | 124 |
| 川越市 | 2 | 5 | 7 |
| 北本市 | 0 | 1 | 1 |
| 桶川市 | 0 | 1 | 1 |
| さいたま市 | 0 | 2 | 2 |
| 越谷市 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 28 | 108 | 136 |

| 月別実績 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 | 前年 | 前年比% |
|------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 児童 | 契約数 | 24 | 25 | 27 | 27 | 27 | 27 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 25 | 112 |
| | 計画 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 5 | 1 | 3 | 2 | 1 | 34 | 27 | 126 |
| | モニタリング | 6 | 6 | 6 | 4 | 3 | 3 | 1 | 3 | 1 | 5 | 6 | 3 | 47 | 37 | 127 |
| 成人 | 契約数 | 107 | 107 | 106 | 108 | 107 | 107 | 108 | 108 | 107 | 105 | 105 | 108 | 108 | 111 | 97 |
| | 計画 | 1 | 4 | 5 | 16 | 4 | 3 | 14 | 10 | 13 | 8 | 10 | 6 | 94 | 76 | 124 |
| | モニタリング | 17 | 29 | 37 | 20 | 27 | 36 | 17 | 25 | 35 | 17 | 26 | 31 | 317 | 272 | 117 |
| 全体 | 契約数 | 131 | 132 | 133 | 135 | 134 | 134 | 136 | 136 | 135 | 133 | 133 | 136 | 136 | 136 | 100 |
| | 計画 | 3 | 7 | 8 | 19 | 7 | 7 | 18 | 15 | 14 | 11 | 12 | 7 | 128 | 103 | 124 |
| | モニタリング | 23 | 35 | 43 | 24 | 30 | 39 | 18 | 28 | 36 | 22 | 32 | 34 | 364 | 309 | 118 |
| 認定調査 | | 2 | 3 | 1 | 4 | 6 | 2 | 3 | 5 | 1 | 4 | 5 | 5 | 41 | 0 | |

きらり smile サロン

| 実施日 | 内容 | 参加数 |
|---------|-----------------------------|-----|
| 5月 | コロナで中止 | - |
| 6月 | 座談会「自分でやっていること&やってもらっていること」 | 3名 |
| 7月 | 洋服のボタン付けに挑戦 | 4名 |
| 8月9月10月 | コロナで中止 | - |
| 11月 | 簡単に作れる調理を調べよう | 4名 |
| 12月 | 簡単に作れる料理を作ろう | 5名 |

| | | |
|----|-----------------------------|----|
| 1月 | 今年目標発表&教室ゲームで体をほぐそう | 5名 |
| 2月 | コロナで中止 | - |
| 3月 | 体のセルフケア（歩く・ストレッチ）&今年度をふりかえり | 3名 |

実施状況

- ・ご本人や家族の状況に合わせ、臨機応変に必要な支援を関係機関と連携して行った。
- ・今年度は、急逝される方や看取り支援などがあり、ご家族、医療等関係機関、法人他機関等と連携し対応した。
- ・災害時におけるアンケートで希望された方に対して災害時個別計画を作成した。
- ・新型コロナ対策としては、緊急性のある方のみ訪問や会議を行い、そのほかの方は原則、電話やメール、ZOOM等を活用して聞き取り支援を行った。
- ・「きらりサロン」は自立に向けたテーマとして、内容は参加者にお聞きしながら決めている。毎回楽しみに参加して頂いた。時間帯についても、川島町総合型地域スポーツクラブの後の時間に設定し、どちらも参加できるよう工夫している。新規参加者が2名あり、交流が広がった。5月と8月～10月はコロナの影響により中止とした。
- ・軽度の方のスポーツや仲間づくりに関して、昨年より川島町総合型地域スポーツクラブと連携し、きらり職員や希望される利用者も一緒に参加している。参加者も、昨年度より増え、生活の中に楽しみができて充実につながっている。小学生のボランティアが1回参加した時があったが、とても良い交流になった。
- ・生活困窮者支援の要請は1件あり支援した。
- ・川島町との連携と強化については、今年度も川島連絡会に毎月1回継続して参加した。
- ・きらり主催の事例検討会は、コロナの影響で初めてZOOM開催にて行った。ひきこもりの方の支援をテーマに据えて、町内の事業所が集まりアイデアを出し合い共有した。
- ・企画していたグループホーム見学や勉強会についてもコロナの影響で延期とした。今後将来について考える機会を作っていきたい。

4. サービス向上の取り組み

職員研修・会議

- 外部研修～いずれもオンラインでの研修であった。
県社協権利擁護研修（3名）、精神科医療からみた発達障害者における留意点（1名）
- 内部研修
リスクマネジメント・ヘルパー合同研修・虐待権利擁護研修（センター職員合同研修）
- 会議等
職員会議（毎月）、運営会議（毎月）、川島町保健センター情報交換会（毎月）、川島町内関係機関事例検討会（きらり主催・2月）・基幹相談支援主催研修（年2回参加）

危機管理対策

- ヒヤリはっと 0件（前年度0件）、○事故報告 0件（前年度0件）
- 苦情報告 0件（前年度1件）

【ライフサポートそら】

居宅介護等・移動支援・訪問介護等・生活サポート・るんるんクラブ

| | |
|----------|---|
| 重点 目標 | ○サービス（支援）の質の向上 ○ニーズに応えられる体制づくり ○新たな体制づくり ○地域とのつながりを大切にするについて ○軽度の障害者や、ひきこもりの方が参加できる場の検討について |
|----------|---|

1. 職員体制（令和4年3月31日現在）

管理者1名（兼務）・サービス提供責任者3名（うちパート1名）・ヘルパー5名
 登録型ヘルパー20名
 計29名（常勤8名）

2. サービス提供実績

| 事業別 | 契約者（R3.4.1～R4.3.31） | 利用実績／年間 |
|-----------|---------------------|----------|
| 障害（居宅介護等） | 41名 | 7727.3時間 |
| 介護（訪問・予防） | 4名 | 450時間 |
| 移動支援 | 61名 | 2270.5時間 |
| 生活サポート | 130名 | 2802時間 |
| るんるん | 36名 | 延参加409名 |

4. 利用実績

| 行動援護・重度訪問介護・居宅介護・同行援護／月別利用実績 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|------|
| 項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 前年度比 |
| 援行 援助 | 契約者 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 26 | 27 | 26.9 | 23.3 | 116% |
| | 利用時間 485.0 | 461.5 | 449.0 | 476.5 | 424.5 | 428.0 | 449.0 | 439.5 | 442.5 | 407.0 | 291.0 | 414.0 | 5167.5 | 5746.0 | 90% |
| 訪重 問度 | 契約者 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1.0 | 100% |
| | 利用時間 15.0 | 15.0 | 14.5 | 15.0 | 9.5 | 14.0 | 16.5 | 20.5 | 14.5 | 17.0 | 12.0 | 20.0 | 183.5 | 65.5 | 280% |
| 介居 護宅 | 契約者 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 12 | 12 | 11 | 11 | 10 | 10 | 12.0 | 13.7 | 88% |
| | 利用時間 196.5 | 189.0 | 197.5 | 199.0 | 182.5 | 126.5 | 170.0 | 189.0 | 181.5 | 174.5 | 159.8 | 159.0 | 2124.8 | 1970.0 | 108% |
| 援同 護行 | 契約者 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2.0 | 2.3 | 87% |
| | 利用時間 26.0 | 20.0 | 22.0 | 25.5 | 15.5 | 18.0 | 23.0 | 22.0 | 21.5 | 19.5 | 13.5 | 25.0 | 251.5 | 384 | 65% |
| 合計 | 契約者 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 40 | 40 | 39 | 39 | 37 | 38 | 39.9 | 38 | 105% |
| | 利用時間 722.5 | 685.5 | 683.0 | 716.0 | 632.0 | 586.5 | 658.5 | 671.0 | 660.0 | 618.0 | 476.3 | 618.0 | 7727.3 | 8165.5 | 95% |
| 居宅介 護内訳 | 身体介護 184.5 | 177.5 | 185.0 | 182.0 | 170.0 | 114.5 | 158.0 | 172.0 | 174.0 | 166.0 | 149.3 | 145.0 | 1977.8 | | |
| | 家事援助 10.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 4.0 | 4.0 | 4.5 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 45.5 | | |
| | | | | | | | | | | | | | 2.0 | 2.0 | |
| 訪問介護・予防訪問介護／月別利用実績 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 前年度比 |
| 介訪 護問 | 契約者 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2.4 | 2.5 | 99% |
| | 利用時間 26.00 | 22.00 | 23.00 | 24.50 | 20.00 | 25.75 | 29.75 | 28.00 | 30.00 | 30.50 | 21.50 | 18.00 | 299.00 | 572.00 | 52% |
| 訪予 護問 | 契約者 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | 1.0 | 100% |
| | 利用時間 13.00 | 13.00 | 13.00 | 13.00 | 13.00 | 13.00 | 12.00 | 13.00 | 12.00 | 10.00 | 12.00 | 14.00 | 151.00 | 289.00 | 52% |
| 合計 | 契約者 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3.4 | 3.5 | 99% |
| | 利用時間 39.00 | 35.00 | 36.00 | 37.50 | 33.00 | 38.75 | 41.75 | 41.00 | 42.00 | 40.50 | 33.50 | 32.00 | 450.00 | 861.00 | 52% |
| 移動支援・月別利用実績 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 前年度比 |
| 身介 護り | 契約者 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32.5 | 32.5 | 100% |
| | 利用時間 114.5 | 119.5 | 127.5 | 116.5 | 101.0 | 107.0 | 115.0 | 107.5 | 110.0 | 101.0 | 75.0 | 100.0 | 1294.5 | 2474.5 | 52% |
| 身介 護し | 契約者 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27.7 | 27.6 | 100% |
| | 利用時間 87.5 | 78.5 | 82.5 | 80.0 | 76.0 | 68.0 | 88.5 | 90.0 | 91.5 | 81.5 | 67.0 | 85.0 | 976.0 | 1864.5 | 52% |
| 合計 | 契約者 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 60 | 60 | 59 | 59 | 59 | 59 | 60.2 | 60.1 | 100% |
| | 利用時間 202.0 | 198.0 | 210.0 | 196.5 | 177.0 | 175.0 | 203.5 | 197.5 | 201.5 | 182.5 | 142.0 | 185.0 | 2270.5 | 4339.0 | 52% |
| 生活サポート・月別利用実績 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年度 | 前年度比 |
| 利用 実績 | 契約者 130 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 127 | 128 | 127 | 127 | 126 | 126 | 128.0 | 127.8 | 100% |
| | 利用者 57 | 56 | 58 | 57 | 53 | 54 | 51 | 56 | 56 | 55 | 48 | 52 | 54.4 | 54.2 | 100% |
| | 利用時間 254.0 | 228.5 | 245.0 | 249.0 | 250.0 | 249.0 | 232.5 | 244.5 | 217.5 | 228.5 | 166.0 | 237.5 | 2802.0 | 5350.0 | 52% |

るんるんクラブ

- 登録者数 35名 (川島町内 32名・川島町外 3名)
- 発表の場 フラワーアレンジ(キッズ含む)…川島町中央文化展展示(11月)
※新型コロナ感染対策で中止・不参加(ウイングフェス・のびっこ夕涼み発表・平成の森老人保健施設・川島町生涯学習フェスティバル)

グループ外出

| 実施日 | 内容 | 行先 | 参加数 |
|---|-----------|-------------|-----|
| 4月(3日・4日) | お花見 | 笛木醤油・中山公民館 | 10名 |
| 5月(8日・9日) | 新緑を楽しむ | 八丁湖と吉見観音 | 14名 |
| 6月(5日・6日) | 動物に会いに行こう | こども自然動物自然公園 | 14名 |
| 7月(3日・4日) | ハイキング | 森林公園 | 13名 |
| 8月(7日・8日) | 動物に会いに行こう | こども自然動物自然公園 | 10名 |
| 9月(4日・5日) | ハイキング | 森林公園 | 10名 |
| 10月(2日・3日) | 紅葉を楽しむ | 八丁湖と吉見観音 | 13名 |
| 11月(6日・7日) | 動物に会いに行こう | こども自然動物自然公園 | 12名 |
| 12月(4日・5日) | 買い物とビデオ鑑賞 | 笛木醤油・中山公民館 | 11名 |
| 1月(8日・9日) | 初詣に行こう | 東松山・箭弓神社 | 12名 |
| 2月(5日・6日) | ハイキング | 森林公園 | 10名 |
| 3月(5日・6日) | ハイキング | 森林公園 | 13名 |
| 年間総数：実施回数/24回 延参加人数/142名 ヘルパー確保できず断った数/0名 | | | |

実施状況

- ・今年度より主任職員の変更があるなど体制が大きく変化してのスタートであったが、大きな混乱もなく、支援やコーディネート業務等、スムーズに行うことができた。
- ・利用者支援については、従来通り個々のニーズに合わせ検討、対応した。緊急時の対応や、看取りについても、関係機関と連携し出来る限りの支援を行った。
- ・コロナ禍でも、安全に外出ができるようグループ外出や、るんるんクラブの内容を考え実施した。るんるんクラブに関しては、公共機関の貸し出し禁止時期は中止とした。
- ・送迎体制については、より安全に行えるように前年度中に研修体制を整えた。今年度は外部の安全運転適性診断研修を受けない年なので、事業所運転管理者と個別で運転研修を行う計画であったがコロナ陽性者が頻繁に発生し、資料の配布に変更した。
- ・9月に埼玉県による実地指導があり指摘された点については改善し、実施している。
- ・新規登録ヘルパーは4名であった。募集チラシの掲示やブログにて紹介を行った。
- ・人材定着、育成は、日々の支援や、個別支援会議、研修等を通じて行った。
- ・今年度も実習生の受け入れは、コロナの影響もあり依頼がなかった。

3. サービス向上の取り組み

職員研修

○外部研修（参加者5名）～原則としてオンライン研修であった。

精神障害者居宅介護サービス研修、スーパービジョン研修～対個別と対集団編、クレーム対応研修、介護職員のための医療・薬の基礎知識研修、障害のある方の健康づくり講座～肥満対策編～、強度行動障害支援者養成研修、同行援護従事者養成研修

○内部研修

事例検討会（19回）・感染症対策（随時）・個人情報保護・事故やヒヤリハット事例からの研修・安全運転講習・アンガーマネジメント

リスクマネジメント・ヘルパー合同研修・虐待権利擁護研修（センター職員合同）

○職員会議（毎月）、運営会議（毎月）

危機管理対策

○ヒヤリはっと 8件（前年度6件）

内容：送迎中の内容・転倒の恐れ・備品の破損・利用者を一瞬見失う等

○事故報告 28件（前年度33件）

内容：派遣忘れ（8）・派遣遅刻（6）・派遣場所、内容等の間違い（4）・転倒（4）・車両事故（2）・服薬忘れ（1）・靴擦れ（1）・落とし物（1）・便座破損（1）

※その他、コロナPCR検査報告を含めて、必要に応じ埼玉県に報告をした。

○苦情報告 7件（前年度4件）

内容：サービス内容に関する苦情（ヘルパー態度1・派遣内容1・介護技術不足2）

路上駐車（1）・利用料の引き落としに関して（1）・備品破損（1）

その他

○保健・衛生管理

職員健康診断（5月）、感染予防対策・インフルエンザ予防接種の補助奨励 他
県障害者施設従事者PCR検査実施（2～3月）

○車両運行管理

日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車 他

○そら通信・るんるん通信の発行（各12回／年）

Ⅲ にじ拠点

【グループホームにじ】 共同生活援助

| | |
|----------|--|
| 重点 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○彩りのある暮らしを創る。 ○利用者の安心・安全・快適な生活を守る。 ○チームワークで支援力を高める。 ○危機管理対策の見直しを図る。 |
|----------|--|

1. 職員体制 (令和4年3月31日現在)

管理者1名・サービス管理責任者1名(にこぬく兼務)・看護師1名(のびっこ兼務)
 世話人兼生活支援員1名・世話人3名・生活支援員(夜間・休日)7名
 計14名(うちパート10名)

2. サービス提供実績

契約者

- ・定員6名 ・年間利用実人数：8名(新規利用者2名・退所者3名)
- ・出身地：川島町8名
- ・利用者支援区分

| 支援区分 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 3 | 8 |

- ・年齢

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60以上 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|---|
| 人数 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 | 0 | 8 |

利用実績

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 年間 |
|------------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 開所日 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 365 |
| 契約者数 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 6 | 5 | - |
| 延利用 | 180 | 186 | 180 | 186 | 186 | 160 | 184 | 161 | 155 | 155 | 162 | 155 | 2050 |
| 平均/日 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5.3 | 5.9 | 5.3 | 5 | 5 | 5.7 | 5 | 5.6 |
| 利用率 定員比 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 88% | 98% | 89% | 83% | 83% | 92% | 83% | 93% |

実施状況

- ・利用者の入替りが多い年となった。
- ・訪問看護・訪問診療との連携を図り、2名の看取り支援をおこなった。親御さんの意向に添い、仲間と共にホームで暮らし、生涯を全うした。看取り支援では職員のチームワークと支援力が発揮された。
- ・上記2名に加え、持病により急逝された利用者もあり、他入居者へのメンタルケアに留意した(お焼香に行きお別れをきちんとする。話を聞くなど)。比較的落ち着いて過

ごすことができました。

- ・引き続き、日々の基本的なコロナ対策を徹底して行った。入居者も自主的に手洗い・手指の消毒を行えるようになっている。
- ・誕生会、夏は花火、長期休暇時はカラオケ会、タブレット導入など、日々のささやかな楽しみを大切に実施した。
- ・月1回の「お母さんランチ」もコロナ感染が低い時期に実施できた。
- ・月1回職員と一緒に個別掃除日を決めて居室内清掃を実施。実施日をメンバー会議で自主的に決めるようになった。
- ・月1回メンバー会議実施。自分たちで進行等の段取りを決めるようになった。
- ・コロナ影響で、地域活動の参加ができなかった。
- ・LINE活用・職員会議録やヒヤリハットシートなどの閲覧徹底等で情報の共有を図った。
- ・Wワーク職員も多いため、職員会議の参加率が低い。特に夜勤支援職員の意見を吸い上げられるしくみづくりが課題である。
- ・研修は当初の計画通りにできなかった。今後動画研修など工夫が必要である。
- ・除草作業・床・エアコン等の清掃を業者委託した。
- ・のびっこ看護師・管理栄養士とのケース会議を実施し、健康面での連携を図った。

3. サービス向上のための取組

職員研修

○外部研修（参加者1名） 行動援護従事者養成研修・福祉有償運送研修

○内部研修

ヒヤリハットと事故報告（5月）・感染症対策（10月）・事例検討会（11月/講師：埼玉県発達障害支援センター相談員）・非常勤職員向けアンガーマネジメント動画研修（2～3月）・権利擁護虐待防止研修（3月）

○職員会議（毎月）・運営会議（毎月）・看護師会議（隔月）

危機管理対策

○ヒヤリはっと 26件（前年度18件）

内容：服薬忘れ等（11）・飛び出し（3）・誤嚥のおそれ（3）・転倒（3）・他

○事故報告 5件（前年度7件）内容：無届外出（3）・服薬ミス（1）・職員へ暴力（1）

○苦情報告 0件（前年度0件）

○防災訓練・点検

避難訓練（7月・3月）、定期点検（自主点検（毎日）・業者設備点検（5月・11月））、消防署立入検査（6月/設備異常なし）

※洪水時の避難確保計画を作成し、川島町にも届け出た。

その他

○保健・衛生管理

職員健康診断（11月）、感染予防対策・インフルエンザ予防接種の補助奨励 他
県障害者施設従事者PCR検査実施（7～10月、2～3月）

IV にこにこぬくぬく拠点

【にこにこ】 児童発達支援・放課後等デイサービス

| | |
|------|--|
| 重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○個別支援計画を基にした、より専門性を踏まえた支援を行い、利用者満足度を高める。 ○日々のプログラムの質をより高める。感染症対策を万全に行い、コロナ禍でも工夫しておこなう。 ○まずは医療的ケア児が安心して利用できる体制を整える。 ○人権、権利擁護に関する職員への啓発、取り組みを繰り返しおこなう。 ○オープン5年間の良い部分と課題点を洗い出し、良い部分は更に磨き、課題点は積極的に見直し改善する。 |
|------|--|

1. 職員体制 (令和4年3月31日現在)

管理者1名・児童発達支援管理責任者1名・保育士2名・児童指導員4名
指導員(福祉サービス経験者含む)4名・看護師1名・事務員1名

計15名(うち常勤8名)※常勤7名はぬくぬく兼務

2. サービス提供実績

契約者 28件(R3年4月1日~R4年3月31日) / 定員10名

放課後等デイサービス・・・26名

児童発達支援・・・・・・・・・・2名

契約者状況

| 性別 | 女性 | 男性 | 計 |
|------------|----|----|----|
| 放課後等デイサービス | 14 | 12 | 26 |
| 児童発達支援 | 1 | 1 | 2 |
| 計 | 15 | 13 | 28 |

| 市町村 | 川島 | 川越 | 吉見 | 東松山 | 上尾 | 桶川 | 北本 | 計 |
|--------|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 放課後等デイ | 7 | 11 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 26 |
| 児童発達支援 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 計 | 8 | 12 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 28 |

| 学校・学年別 | 児童発達 | 放課後等デイ対象 | | | | 計 |
|-------------|------|-------------|-------------|-----|-----|----|
| | 未就学 | 小学部 1~3年 | 小学部 4~6年 | 中学部 | 高等部 | |
| 川越特別支援学校 | | 5 | 1 | 2 | 1 | 9 |
| ひばりが丘特別支援学校 | | 2 | 4 | 0 | 6 | 11 |
| 上記以外 | 2 | 3 | 1 | 1 | 0 | 7 |
| 計 | 2 | 10 | 6 | 3 | 7 | 28 |

利用実績数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 年間 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 定員 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 開所日 | 26 | 26 | 26 | 27 | 23 | 26 | 26 | 26 | 24 | 24※ | 24※ | 27 | 305 |
| 利用延数 | 195 | 201 | 218 | 185 | 195 | 217 | 203 | 213 | 209 | 156 | 76 | 200 | 2268 |
| 平均利用/日 | 7.5 | 7.7 | 8.3 | 6.8 | 8.1 | 8.3 | 8.1 | 8.1 | 8.7 | 6.5 | 3.1 | 7.4 | 7.4 |

※1月（計1日）・2月（計10日）に休所日あり。

※児童発達支援は、年間利用延べ数33人のご利用（全体の1%未満）

実施状況

- ・年間平均利用率は74%ほど。コロナ禍による休所があったものの、前年度より増加。また、前年度ご利用のなかった児童発達支援についても2件の新規契約があった。
- ・新型コロナウイルスについては、感染防止対策を徹底していたが、1月末と2月中旬に職員の感染が発生した。保健所等の関係機関とも連携し、事後の対応をおこない、影響を抑えるためそれぞれ数日間の休所対応をとった。また利用児童の濃厚接触者該当の連絡も頻回にあり、その都度、保護者・利用者に周知し、関係機関とも連携の上、サービスを継続した。
- ・新型コロナウイルスの影響による急遽のキャンセルも多く発生した。一方で追加利用の依頼も一定数あり、出来るだけお受けできるように努めた。
- ・前年度末に、高等部3年生が複数名卒業し、4月より小学部1年生の利用が4名始まった。また年度途中から児童発達支援（未就学児）の利用もあり、全体として利用者の年齢層が下がった。
- ・多様な障害特性の方を受け入れており、また全体的に年齢層が下がったことも踏まえ、当日の利用人数や児童の障害特性などを考慮して毎日の活動プログラムを計画してきた。コロナ対策にも最大限気を配り（外出先の配慮、室内活動の工夫、食事時の距離の確保等）、その中でも日々の活動が充実したものになるように工夫している。また特に重度の利用者を対象とする「個別サポート加算」対象者が多く在籍しており（全体の7割超）、職員加配加算を取得し、その日の利用者の特性を考慮した職員配置をおこなっている。
- ・児童発達支援管理責任者の主導の下、個別支援計画作成のサイクル改善をおこない、より計画をもとにした充実した支援がおこなえるように努めた。
- ・連絡ノートや送迎時の引継ぎ、個別面談等により保護者とのコミュニケーションに出来る限り努めた。尚、個別面談は電話面談を原則として、年2回実施した。
- ・医療的ケア児の利用はなかったが、看護師が主導する中で傷病に関する記録を整備し、体調把握、健康管理の面からの支援をより手厚くおこなうようになった。
- ・送迎サービスのニーズは高く、川島町という地域の特性上、送迎方面が多岐にわたっている。そのため効率的で安全な送迎体制に努めた。
- ・コロナ禍の下、ボランティアの受け入れはフラダンスの講師のみとした。感染対策に

留意しつつも定期的におこなうことで、利用児童も慣れて楽しめている様子が窺える。

3. サービス向上のための取組

職員研修

○外部研修～いずれもオンラインでの研修であった。

苦情解決セミナー・リスクマネジメント研修・姿勢の崩れやぎこちなさ～原因を考える～研修・権利擁護虐待防止研修・サービス管理責任者更新研修

○内部研修

権利擁護・虐待防止（4月）・てんかん発作（5月）・個人情報保護（10月）・安全運転（12月）・アンガーマネジメント（2月）・その他感染予防研修を随時行う

○職員会議（毎月）、運営会議（毎月）

危機管理対策

ヒヤリハットについては、随時啓発しており前年以上の提出があった。内容は職員会議や回覧で全職員が共有している。引き続き傾向を分析し予防に努めていく。

○ヒヤリはっと 92件（前年度43件）

内容：転倒つまずき（19）・他者との接触（15）・壁や物等にぶつかる（9）・車内の忘れもの（6）・運転手まわりに手が出る（5）・車いすの積み忘れ（3）・車いす固定忘れ（3）・運転中に車内で移動する（3）・その他車に関すること（4）・介助中スタッフの手（爪）が触れる（3）・怪我（2）・物を投げる（2）・飛び出し（2）・ドア鍵の閉め忘れ（2）・予定表の入れ間違い（2）・荷物の入れ間違い（2）・落とし物（2）・その他（8）

○事故報告 6件（前年度1件）

内容：車両事故・職員の怪我（3）・車両事故（2）・発送書類入れ違い（1）

※その他、コロナ PCR 検査報告を含めて、必要に応じ埼玉県に報告をした。

○苦情報告

報告件数： 1件（前年度0件） 内容：面談忘れ

○防災訓練・点検

避難訓練（7月・3月）、定期点検（自主点検（毎日）・業者設備点検（5月・11月））

※洪水時の避難確保計画を作成し、川島町にも届け出た。

その他

○保健・衛生関係

職員健康診断（11月）、感染予防対策・インフルエンザ予防接種の補助奨励 他
県障害者施設従事者 PCR 検査実施（7～10月、2～3月）

○車両運行管理 日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車 他

○「放課後等デイサービスガイドライン」及び「児童発達支援ガイドライン」に基づく自己評価を実施し、その結果については法人ホームページに公開した。

○にこぬくだよりを月1回発行している。

【ぬくぬく】短期入所事業

| | |
|------|--|
| 重点目標 | <p>○食事・入浴・睡眠等、各生活の場面において、各利用者のニーズを踏まえた上で、年齢や障害に応じてのその場面に応じた適切な支援、丁寧な支援をおこなう。その際には職員間で情報を共有し、統一した対応をとる。</p> <p>○新型コロナウイルス対策を万全におこない、感染症を発生させない。</p> <p>○緊急時対応については、優先的に調整して全て受け入れるように努める。</p> <p>○重度の方が多く利用している点をも踏まえて、利用者の人権に対する取り組みを継続しておこない、職員の意識をより一層高める。</p> |
|------|--|

1. 職員体制 (令和4年3月31日現在)

管理者1名・生活支援員8名・清掃員1名・事務員1名 計11名(うち常勤7名)

※常勤はにこにこ兼務

02. サービス提供実績

契約者 70件(R3年4月1日~R4年3月31日) / 定員4名

契約者状況

| | | | |
|----|-------|-------|-------|
| 性別 | 女性25名 | 男性55名 | 計 70名 |
|----|-------|-------|-------|

| | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 市町村 | 川島 | 川越 | 吉見 | 上尾 | 桶川 | 東松山 | 北本 | 坂戸 | 計 |
| | 44 | 8 | 5 | 6 | 3 | 1 | 2 | 1 | 70 |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|----|----|-----|-----|-----|----|
| 区分 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 児童1 | 児童2 | 児童3 | 計 |
| | 0 | 0 | 5 | 10 | 16 | 33 | 0 | 0 | 6 | 70 |

利用実績数

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 年間 |
| 開所日 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 30 | 28※ | 28※ | 31※ | 361 |
| 利用者延数 | 221 | 234 | 229 | 207 | 232 | 227 | 235 | 225 | 220 | 163 | 104 | 188 | 2485 |
| 空き枠(キャンセル数) | 0 | 2 | 0 | 16 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 22 | 54 | 26 | 126 |

※1月(計1日)・2月(計11日)・3月(計3日)に休所日あり。空き枠は休所日分を含む。

実施状況

- ・新型コロナウイルスについて感染防止対策を徹底していたが、1月末と2月中旬に職員の感染が発生した。保健所等の関係機関とも連携し、事後の対応をおこない、影響を抑えるためそれぞれ数日間の休所対応をとった。また、3月にワーク&ライクのびっこ職員の感染が発生し、のびっこ在籍者の利用が多い点を踏まえて、同様に数日間

休 所対応をとった。一方で、併設するにこにこの児童が濃厚接触者となることが複数回あり、その都度必要な対策を講じ、利用者・保護者へ周知して利用確認を行いながらサービスを継続した。

- ・感染者数の増減にかかわらず、利用に慎重な方も多かった。利用枠の空き状況に応じて、必要な方への声掛けをおこない利用して頂いた。
- ・通常の感染予防対策に加えて、食事時間をずらしたり、利用者間の距離を保っていただくなどの対応をおこない、より慎重な対策に努めた。
- ・緊急利用は3件あり、ともに保護者の急病に伴う依頼であった。いずれも最優先で調整に努めた。またそれに伴う形で、保護者の入院による2週間から1ヶ月ほどの長期の利用依頼にも対応した。
- ・新規契約者は1件。契約終了者は4件であった（いずれもグループホームへの入居に伴う契約終了）。
- ・利用者が安心、快適に過ごせるように、保護者や各関係機関と連携した。またその内容については、業務日誌や引継ぎ簿の活用により、職員間での共有に努めた。
- ・「重度障害者支援加算」対象者が多く在籍している点を踏まえて、重度障害者に対する研修修了者を多く配置して、より適切な支援を行うように努めた。
- ・利用者の様子について、特に健康状態、体の傷の確認等を含めて、ワーク&ライクのびっこと連携し、共有に努めている。
- ・深夜帯はひとりでの支援となることも踏まえて、職員に対する人権意識の啓発を会議等の場を通じて随時おこなっている。

3. サービス向上のための取組

職員研修

*にこにこ参照

危機管理対策

概要について職員会議で共有して、対応を強化した。

○ヒヤリはっと 24件（前年度26件）

内容：返却忘れ、入れ間違い（4）・鍵の閉め忘れ（3）・薬をこぼす（3）・薬の飲み忘れ（3）・介助中に疵をつけてしまう（2）・怪我、傷（2）・外へ飛び出す（1）・自傷（1）・転倒（1）器物破損（1）・個人情報の管理（1）・衛生に関すること（1）・紛失（1）

○事故報告 6件（前年度1件）

内容：服薬間違い（3）・備品破損（3）

※その他、コロナPCR検査報告を含めて、必要に応じ埼玉県に報告をした。

○苦情報告 3件（前年度3件）

内容：保護者への伝え方・説明不足（2）・支援内容の不安点（1）

○防災訓練・点検、その他

*にこにこ参照